# 鎌倉市鏑木清方記念美術館　年報

## 2023 年度（令和 5 年度）

Annual Report 2023.4-2024.3

鎌倉市鏑木清方記念美術館

Kamakura City Kaburaki Kiyokata Memorial Art Museum

# 目次


目次 1
ごあいさつ 2
Ⅰ　沿革 3
Ⅱ　動向 4
Ⅲ　活動記録
1. 展覧会 6
2. 教育普及
1. 講演会 22
2. 展示解説 23
3. 市民講座 24
4. 子どもプログラム／ワークショップ 25
5. 市民サポートスタッフ 28
6. 客員研究員・市民サポート客員研究員 28
7. 館外活動 28
8. 映像コーナー 30
9. 図書コーナー 30
3. 収集・保存
1. 収蔵作品数 31
2. 令和 5 年度追加収集作品 31
3. 保存修復作品 32
4. 貸出事業 32
4. 調査・研究
1. 刊行図録 33
2. デジタルアーカイブ 33
3. アンケート概要 34
5. 広報・宣伝 35
6. 共催・連携 36
7. 企画協力 37
Ⅳ　資料
1. 施設概要 38
2. 利用案内 38
3. 組織及び職員名簿 38
4. 入館者数 39
5. 美術館設置条例 39
Ⅴ　鏑木清方に関する資料
1. 鏑木清方に関する文献目録 43
2. 鏑木清方に関する展覧会記録 70

# ごあいさつ

鎌倉市鏑木清方記念美術館は、近代日本画の巨匠 鏑木清方の業績を広く後世に伝えるため、ご遺族から鎌倉市へ寄贈された旧居と美術作品・資料をもとに平成 10 年 4 月に開館しました。

このたび、令和 5 年(2023 年)4 月から令和 6 年(2024 年)3 月まで、令和 5 年度に実施した事業を中心に、活動の記録をまとめました。

令和 5 年度は開館 25 周年を迎えるとともに、清方生誕 145 年にもあたりました。また、清方と親交を結んだ小説家・泉鏡花の生誕 150 年、敬愛した文豪・尾崎紅葉の没後 120 年、戦後鎌倉での画業の始まりを共にした鎌倉文士・大佛次郎の没後 50 年という、清方の画業に影響のあった人々の節目の年でもありました。

展示事業では、先ず開館 25 周年記念として、清方が晩年に鎌倉雪ノ下で制作した作品に焦点をあてた展覧会を開催しました。また、近代日本美人画家・上村松園の作品を清方の松園に関する随筆と共に開館以来初めて展示したほか、清方にゆかりの深い人々との関わりや、清方の弟子たちの作品も紹介し、多様な視点から清方芸術の顕彰を行いました。

普及事業では、新型コロナウイルス感染症が 5 月に 5 類感染症の位置づけとなったことから、コロナ禍前の開催形式に戻して各事業を開催しました。紫陽花の咲く季節や紅葉の時期に合わせて他館と連携した展示解説ツアーを開催したほか、手話付き展示解説や日本画初心者向けの展示解説を初めて実施しました。

調査研究事業では、叢書刊行のための調査活動をはじめ、収蔵品データベースの充実を図り、清方作品の普及に努めました。

今後も、美術館の様々な活動を通して、清方芸術と近代日本画の魅力を伝えてまいります。変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和 7 年 3 月

公益財団法人鎌倉市芸術文化振興財団
鎌倉市鏑木清方記念美術館

# Ⅰ　沿革

| | |
|---|---|
| 平成 2、3 年頃 | 山田肇氏（鏑木清方の娘婿。当時　明治大学名誉教授、演劇評論家）が、鏑木清方の作品の散逸を防ぎ、その業績を永く後世に伝えるため、清方の終の棲家となった土地、建物及び所有する作品等を活用した記念館の設立等について、横浜美術館等に相談。その意向は鎌倉市に伝えられ、市が受け入れ等の準備を始める。 |
| 平成 5 年 10 月 | 寄贈の意向が鎌倉市に正式に伝えられる。 |
| 平成 6 年 3 月 | 遺族から土地（955.27 ㎡）、建物（214.11 ㎡）及び作品の一部（26 点）が鎌倉市に寄贈される。 |
| 平成 6 年 7 月 | 「（仮称）郷土記念館・美術館基本構想検討委員会」設置（座長：鎌倉風致保存会会長　上野豊氏）。以降計 6 回の検討会を経て基本構想がまとめられる。 |
| 平成 6 年 10 月 | 「受贈記念　鏑木清方展」を鎌倉国宝館にて開催。 |
| 平成 7 年 6 月 | （仮称）郷土記念館・美術館基本構想検討委員会報告書提出。<br>展示設計委託、基本設計、実施設計、地質調査委託、近隣住民調整を実施。 |
| 平成 7 年 12 月 | 鎌倉市議会で補正予算が承認される。（建設工事費・家屋解体工事費・家屋事前調査費） |
| 平成 8 年 2 月 | 鏑木清方旧宅解体。 |
| 平成 8 年 4 月 | 着工。 |
| 平成 9 年 8 月 | 横浜美術館に保管されていた作品の鎌倉文学館、鎌倉市立図書館への移管を開始。<br>建物竣工。<br>財団法人鎌倉市芸術文化振興財団へ施設管理委託。外構・庭園の工事実施。 |
| 平成 10 年 3 月 | 工事竣工 |
| 平成 10 年 4 月 17 日 | **鎌倉市鏑木清方記念美術館開館**。開館記念式典開催。 |
| 平成 17 年 9 月 | 入館者数 20 万人達成。 |
| 平成 18 年 4 月 | 指定管理者制度導入により、財団法人鎌倉市芸術文化振興財団（平成 24 年 4 月公益財団法人に移行）が管理運営を行う。参与を廃し、館長に真室佳武氏を任命。 |
| 平成 20 年 1 月 | 初の出張展示「鏑木清方の芸術展」を、美術館「えき」KYOTO にて実施。 |
| 平成 20 年 4 月 24 日 | 特別展　開館 10 周年記念展「清方の美　―その叙情―」初日に開館「10 周年記念の集い」を開催。 |
| 平成 29 年 4 月 | 入館者 50 万人達成。 |
| 平成 30 年 4 月 | 特別展　「開館 20 周年記念　鏑木清方の芸術展」を開催（5 月 23 日まで）。<br>「開館 20 周年記念式典・内覧会」を実施。（19 日） |
| 令和 5 年 2 月 | 入館者 60 万人達成。 |

# Ⅱ　動向

令和 5 年 4 月 1 日　2 日との計 2 回、子ども参加プログラム「浮世絵の貼色摺り技法を体験してみよう！」を実施。
「春休み親子鑑賞」を実施。小・中学生と同伴者を無料とし、子ども向けの解説書を配布。（4 月 4 日まで）

令和 5 年 4 月 13 日　特別展「開館 25 周年記念　清方、鎌倉に住まう ―晩年の作品を中心に―」を開催。（5 月 17 日まで）

令和 5 年 4 月 18 日　「開館 25 周年記念　無料開館」を実施。
「開館 25 周年記念　来館者限定！図録と一筆箋の特別価格販売」を実施。
鎌倉駅地下道ギャラリーにて子ども参加プログラムでの制作作品を展示。（4 月 24 日まで）

令和 5 年 4 月 25 日　当館スタッフ、客員研究員による市民講座を実施。（1 日 1 回、4 月 29 日まで）

令和 5 年 5 月 13 日　「鎌倉文化ゾーン〔小町通り・八幡宮エリア〕ミュージアムめぐりスタンプラリー」を実施。（3 月 31 日まで）

令和 5 年 5 月 20 日　特別展「清方生誕 145 年記念　東の美人画家、鏑木清方 ―上村松園とともに―」を開催。（6 月 25 日まで）「清方生誕 145 年記念　絵はがきプレゼント」を実施（6 月 25 日まで）
着物割引き「着物で楽しむ美術館」を実施。（9 月 10 日まで）

令和 5 年 6 月 7 日　9 日と 14 日との計 3 回、鎌倉市川喜多映画記念館との連携企画として。「紫陽花の咲く記念館を巡る展示解説ツアー」を実施。

令和 5 年 6 月 13 日　美術講演会「くらべて深まる美人画の世界」（講師：田所泰氏）を開催。

令和 5 年 6 月 18 日　日本画ワークショップ「岩絵の具を使って、日本画を描いてみよう！」を実施。

令和 5 年 7 月 1 日　企画展「大佛次郎没後 50 年　季節の彩り ―清方が描いた美人挿絵―」〈前期〉を開催。（8 月 6 日まで）
大佛次郎記念館との連携企画として「もっと知りたい！日本画家・鏑木清方と作家・大佛次郎」相互割引きを実施。（10 月 18 日まで）
「夏休み親子鑑賞」を実施。小・中学生と同伴者を無料とし、子ども向けの解説書を配布。（9 月 10 日まで）
NPO との連携事業として、子ども向けに美術館での過ごし方を紹介する動画をホールにて上映。（8 月 31 日まで）

令和 5 年 7 月 9 日　9 月 2 日との計 2 回、大佛次郎記念館との連携企画「鏑木清方と大佛次郎のゆかりの地を巡る鎌倉ガイドツアー」を実施。

令和 5 年 7 月 16 日　日本画ワークショップ「日本画材を使って、うちわに絵を描こう！」を実施。

令和 5 年 7 月 26 日　NPO との連携事業「親子で美術館へ行ってみよう！美術館で絵画鑑賞と日本画入門体験！」を実施。

令和 5 年 7 月 27 日　28 日との計 2 回、子ども参加プログラム「日本画材を使って、絵巻物を描こう！」を実施。

令和 5 年 8 月 3 日　4 日との計 2 回、子ども参加プログラム「石版画の仕組みを体験してみよう！」を実施。

令和 5 年 8 月 10 日　企画展「大佛次郎没後 50 年　季節の彩り ―清方が描いた美人挿絵―」〈後期〉を開催。
（9 月 10 日まで）
令和 5 年 8 月 22 日　子ども社会見学を実施。
令和 5 年 8 月 29 日　「清方誕生日記念！一筆箋プレゼント＆展示解説」を実施。（9 月 3 日まで）

令和 5 年 9 月 14 日　特別展「清方×文学 ―紅葉への憧憬、鏡花との友情―」を開催。（10 月 18 日まで）
令和 5 年 9 月 24 日　日本画ワークショップ「絵絹に日本画材を使って、絵を描こう！」を実施。

令和 5 年 10 月 3 日　鎌倉駅地下道ギャラリーにて子ども参加プログラムでの制作作品を展示。（10 月 9 日まで）
令和 5 年 10 月 6 日　子ども社会見学を実施。
令和 5 年 10 月 7 日　大佛次郎記念館との連携企画「出張日本画ワークショップ　大人の感想画体験＠大佛次郎記念館」を開催。
令和 5 年 10 月 14 日 15 日との計 2 回、「日本画制作実演」（講師：只野彩佳氏）を開催。
令和 5 年 10 月 29 日 日本画ワークショップ「隈取りの技法を使って、墨絵を描こう！」を実施。
令和 5 年 10 月 21 日 特別展「清方と弟子たち ―師弟で目指した芸術―」を開催。（11 月 26 日まで）

令和 5 年 11 月 14 日 美術講演会「清方から受けつぐ美人画の細緻流麗 ―山川秀峰の生涯と画業―」
（講師：吉井大門氏）を開催。
令和 5 年 11 月 16 日 22 日との計 2 回、鎌倉市川喜多映画記念館との連携企画「芸術の秋＆いい夫婦の日！記念館を巡る展示解説ツアー」を開催。

令和 5 年 12 月 2 日　企画展「春を待つ ―清方が描いた新春―」を開催。（1 月 8 日まで）
鎌倉歴史文化交流館、北鎌倉葉祥明美術館との連携企画「北鎌倉・鎌倉ミュージアム散策 ―現代から鎌倉時代にタイムトラベル―」を開催。
令和 5 年 12 月 17 日 日本画ワークショップ「日本画材を使ってかるたに絵を描いてみよう！」を実施。

令和 6 年 1 月 4 日　「新春福引＆初売り」を実施。（8 日まで）
山口蓬春美術館との連携事業として「鎌倉・葉山　日本画家の旧居跡めぐり 鏑木清方×山口蓬春」を実施。（2 月 27 日まで）
令和 6 年 1 月 13 日　企画展「早春の風情 ―清方のことばとともに―」を開催。（2 月 27 日まで）
展覧会関連事業として「着物で楽しむ美術館」を実施。（2 月 26 日まで）

令和 6 年 3 月 2 日　企画展「子どもへのまなざし ―清方が描いた子どもたち―」を開催。（4 月 16 日まで）
令和 6 年 3 月 26 日　「春休み親子鑑賞」を実施。小・中学生と同伴者を無料とし、子ども向けの解説書を配布。
（4 月 4 日まで）
27 日との計 2 回、「鎌倉文化ゾーン〔小町通り・八幡宮エリア〕ミュージアムめぐりスタンプラリー」関連企画「子どものためのミュージアム活用 ～鎌倉 5 館を巡る～」を開催。
令和 6 年 3 月 30 日　収蔵品データベースに追加公開。
令和 4 年度年報をホームページ上に公開。